

経営者講習会等柱に

県建築協会青年部会総会



部会の発展のため最大限の努力をしていきたい——と挨拶する林部会長＝鹿兒島市のパレスイン鹿兒島で

県建築協会青年部会(林正英部会長)は4月30日、鹿兒島市のパレスイン鹿兒島で16年度定時総会を開き、経営者講習会やIT勉強会の開催、ホームページの構築などを柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、林部会長(豊明建設株)が「青年部会の一番良いところは、一致団結して取り組む姿勢ではないか。激変の時代ではあるが、変化にすばやく対応するためにも自分自身が変わらなければならぬのでは。今後、皆さんと一緒に同部会の発展のため最大限の努力をしていきたい」と挨拶。

末廣浩二氏(株末広建設)を議長に選出して議事に入り、15年度事業報告・決算承認、16年度事業計画・予算案等を審議し、全て原案通りに可決承認したほか、新入会員の東優一氏(株東宝建設)の紹介も行われた。



創立を祝い乾杯する出席者＝鹿兒島市のパレスイン鹿兒島で

新年度事業計画は、会員手帳のイントラ移行に伴うコスト削減、経営者講習会や現場見学会・技術講習会、イントラネットの推進、ホームページ構築、IT勉強会などのほか救命救急講習会や高齢者世帯等奉仕作業等を掲げている。

県外壁改修工事業協同組合(理事長・原田毅樹)は4月30日、鹿兒島市のパレスイン鹿兒島で創立祝賀会を開き、鹿兒島市をはじめ鹿兒島、鹿兒島市をはじめ鹿

県外壁改修工事業協同創立祝賀会

技術集団として貢献へ

界関係者らが出席し同会の設立と飛躍を祝った。祝賀会では原田理事長が組合設立に当たり中央会の指導の下、多くの関係者の協力で設立できたことに感謝を述べ、「建築業界も市町村合併や新幹線開業でグローバルな時代を迎え、さらに厳しさを増すものと思われる。会員23社が真の技術集団として共通仕様書を作成してアフターを徹底するなど、技術力をもって、しっかりしたものを提供する」ことが社会に貢献することだと確信している」と挨拶。

第一相互警備保障

サテライト警備へ消火訓練

次いで、安藤恒次県住宅課長が「公共事業は厳しい状況にあるが、一定の社会資本整備は必要です。これからは新しいものを造る時代ではなく、ストックを有効に活用する時代であり、同組合が

第一相互警備保障(井上文雄社長、本社・大口市)は4月24日、同市下殿の多目的公園で、社員約20人が参加して消火訓練を実施した。同社が始良郡溝辺町の競輪場



機敏に消火作業を行う隊員＝大口市の現地で

外車券売場「サテライトみぞべ」の警備を担当することになったことから行なったもの。集合した参加者を前に井上社長は「警備は生命財産を守る重要な業務。常に第3者の目を意識し、姿勢を正し、制服の品位を守らなければならない。今日は訓練ではなく、本日の火災だと思って行動してほしい」と挨拶し、早速訓練を開始した。訓練は、火点から10メートルの位置にカラーコーンを立て、さらに25メートル離れた位置に隊員が整列。そこから火点を発見したという設定で行われた。隊員は1人ずつ拳手して姓名を名乗り「実施します」と発声、機敏な動作でカラーコーンに駆け寄り、そこに準備された消火器を手に火点まで走り、ピンを抜いて消火作業を行った。ガソリンと灯油、水を混合したものに点火した火点は、黒煙を発生して高く燃え上がり、隊員は真剣な表情で消火器を操作していた。完全に火が消えたことを確認して「状況終わり」と発声、一連の作業は終了したが、参加者の1人、「サテライトみぞべ」で班長を務める小山文男さんは「日頃の訓練の成果だろうが、全員基本にのっとり大変スムーズに消火できたと思う」と笑顔を見せていた。



鹿兒島市都市計画部都市再開発課長に就任した川辺 充二氏

「以前からの職場での就任ですが、課の責任者として改めて気が引き締まります。再開発をはじめ、全て関係の方々を協働して行うものなので、よく話し込んで、和をもって取り組んでいきたい」と抱負を語る。また、「当課のやる気がそのまま事業の進捗につながるのでは、課のモチベーションや雰囲気づくりには特に意を用いた

再開発事業と優良建築物等整備事業があり、16年度は中央町22番街区、23番街区における中央駅前広場整備事業や西千石町13番街区市街地再開発事業が昨年度に完成し、関係者が多く、いろいろな壁にぶつかりながら、その時々を話をして進めてきた」という。特に再開発は地元権利者や関係の方々を進めなければならぬことから、印象深い。鹿兒島大学大学院修了、昭和54年10月に建築指導課に配属され、以後、都市整

課内の雰囲気大切に
築課を経て、平成10年4月に再び都市再開発課に戻り、現在に至る。趣味は健康も兼ねて歩くこと。好きな言葉は「ゆくり」と、しかし着実に。鹿兒島市鷹師2丁目に夫人と2人暮らし。娘が今年進学し、これで子供2人も県外に出て「残って」と少し寂しそだった。昭和29年生まれ(原口省造・報道部)

「以前からの職場での就任ですが、課の責任者として改めて気が引き締まります。再開発をはじめ、全て関係の方々を協働して行うものなので、よく話し込んで、和をもって取り組んでいきたい」と抱負を語る。また、「当課のやる気がそのまま事業の進捗につながるのでは、課のモチベーションや雰囲気づくりには特に意を用いた



新年度事業計画等を審議した総会＝名瀬市の大福で

笠利町建友会(浜田幸雄会長)は4月30日、名瀬市の大福で16年度通常総会を開き、15年度事業

新役員は次の通り。会長 山下正義(株里山正昇) 副会長 山下正義(株里山正昇) 幹事 山下正義(株里山正昇) 監事 山下正義(株里山正昇)

山下正義新会長
期満に伴う役員改選で、新会長に山下正義氏(株里山正昇)を選任した。山下正義氏は「前会長の奉仕の精神を引き継ぎ、地域発展のため貢献したい」と抱負を述べた。新役員は次の通り。会長 山下正義(株里山正昇) 副会長 山下正義(株里山正昇) 幹事 山下正義(株里山正昇) 監事 山下正義(株里山正昇)